



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.677

19. 1. 23

# 70周年記念 日本のうたごえ祭典・

## 多彩な催しに1万人が参加！

1月18日～20日

□「いのちをうたおう！こころをつなごう！」をテーマに「70周年記念日本のうたごえ祭典」が1月18日(金)・19日(土)・20日(日)の3日間にわたって、東京・川崎の各会場で、多彩な企画の催しが行われ、全国から延べ約1万人のうたごえの仲間が集まりました。

□19日(土)川崎市とどろきアリーナで開催された「Human Festa～いのちをうたおう～」では、オープニングで、在日「トラジの会」の老人が”戦争と差別反対！”と歌とおどりを、そして日本の青年300人が「HEIWAの鐘を響かせよう！」と、圧巻は850名の女性が、「いとし子に平和を渡したい」と「いのちの重みを抱きしめて～」と「いとし子よ」を歌い上げました。



### □「Human Festa」

の中心の一つは、「すべての労働争議の解決を！！」と、全国で首切り(解雇)に立ち向かい、職場復帰のためにねばり強く闘っているJAL、IBM等の争議団の人たちが力強く誇らしく、「お父さんの背中」「翼よ高く輝け」「私はここに立つ」と自分たちの創作曲を歌う姿と「人間の歌」の全員合唱は大きく会場を感動の渦に巻き込みました。

また、長時間労働の教育現場で働く先生や幼児保育の現場で頑張っている保母さん(保育士の先生)400人が「レッツ・ゴー」と歌と踊り

りで会場は明るく若返りました。



□「国際交流のステージ」では、「東アジアの友好と連帯を」と「平和の花紫金草」のうたを、全国の紫金草合唱団のメンバーが集まって、400人の合唱となりました。関西紫金草合唱団・昴のメンバーも、本並・千秋・伊藤・吉田・吉岡・岡邑・長屋・清水・吉川が出演しました。(「Human Festa」の後半の様子は次回以降で)



りで会場は明るく若返りました。



□各府県代表が集う「合唱発表会」が18日(金)と20日(日)に開催されました。

「一般 B」(42 団体)、「女性の部」(32 団体)、「小編成の部」(32 団体)、「交流の部 I」(28 団体)、「一般の部 A」(42 団体)、「職場の部」(33 団体)、「オリジナルコンサート」(37 団体)、「交流の部 II」(43 団体)と各部門で合唱発表を行い交流しました。

男声合唱団「昂」は18日(金)渋谷区民センターさくらホールで、「一般 B」の大阪代表で出演し、「君死にたまふことなかれ」を発表しました。本並先生の指揮、西應静さんのピアノ伴奏。残念ながら入賞を逸しましたが、「君死にたまふ」に込められた心を、男声合唱団「昂」の声をホールに響かせました。参加者は全33名でした。(写真はリハーサル中の「昂」です。)

ながら入賞を逸しましたが、「君死にたまふ」に込められた心を、男声合唱団「昂」の声をホールに響かせました。参加者は全33名でした。(写真はリハーサル中の「昂」です。)

昂が出演した「一般 B」の受賞合唱団と他部門での大阪代表の受賞合唱団は以下の通りです。

＜一般の部 B＞

金賞

埼玉合唱団 (埼玉)  
三多摩青年合唱団 (東京)  
関西合唱団 (大阪)

銀賞

絹の道合唱団 (東京)  
仙台合唱団 (宮城)

銅賞

広島合唱団 (広島)  
奈良蟻の会合唱団 (奈良)  
山形センター合唱団 (山形)

＜職場の部＞

銀賞

国鉄大阪合唱団号笛 (国鉄) 衛都連合唱団 (自治体)

銅賞

堺市役所うたごえサークルら・ら・ら (大阪)

＜女性の部＞

金賞 レガーテ (大阪)

銀賞 新婦人中央支部うたごえサークルルンルン (大阪)

銅賞 交野うたう会 (大阪) うたごえサークルブーケ (大阪)

＜小編成の部＞

銀賞 ヴォーカルアンサンブルA V A N T I (大阪)

また大阪代表で出演した他の合唱団は以下の通りです。

＜一般の部 B＞ 河南混声合唱団 コール大東

＜女性の部＞ コーラス・クラージュ

＜小編成＞ おじょーず

＜一般の部 A＞ キアラ・コンパニーア 関西合唱団青年部 Peace&Amuse

＜交流 I＞ 吹田ぞうれっしゃ合唱団 大阪府倫理法人会合唱団 大阪明日歌合唱団

＜職場の部＞ 大阪保母うたサークル”なのはな” サークルハートランド

＜オリジナル＞ ちばりょ～沖縄合唱団 パレアナ(千秋&二三)

＜交流 II＞ 市民合唱団 PeaceCall

## **(投稿) 「Peace Festa ～ところをつなごう～」に参加して 立川**

オープニングセレモニーでは反核平和マラソンの 50 人くらいが登場して連帯の挨拶をしました。「空襲の記憶を伝える」ところでは 3 歳で親兄弟が亡くなり、親戚の引き取られたものの「あんたも一緒に死ねばよかったのに」といわれた女性が登場して空襲訴訟を訴えました。「ぞうれっしゃ」ではインドへ「象を下さい」と手紙を送った歌が歌われました。

「沖縄の闘い」では稲嶺さんの指揮で「沖縄を返せ」を横田基地バージョンでも歌いました。最後「核兵器も戦争もなくせ」では原爆反対は女性の行動から始まったと「母親の歌」を歌いました。そしてシンガーソングライターが 11 人も登場し会場と一緒にシングアウトしました。この 70 年歌われてきた名曲をたっぷり歌って次の京都にバトンタッチしました。あらためて「うたごえ運動」が様々な運動と結びついて歌が創られ 70 年広がってきたことの重みを感じました。

(19 日(土)16:00 から開催された「Peace Festa」に参加された立川さんに、音楽会の感想を 500 字以内でと、書いていただきました。ありがとうございました。: 編集子)

## **(投稿) 「合唱発表会に参加して」 バリトン 向井**

発表会の参加、お疲れさまでした。

初めての全国規模の発表会で、心配しましたが、歌い終わると程良い緊張感と達成感がありました。受賞が、長い間お世話になったピアノの西應先生への恩返しになれば、と団員一同が思いを込めて歌いましたが、残念ながら選ばれませんでした。団員の熱い思い(年齢も)はこの団にも負けませんが、曲のイメージ、曲に込められたメッセージの表現が少し不足し、伝えられなかったように思います。しかし、この間の団員の真剣な取り組みは、次の第 12 回コンサートで必ず生かせるものと思っています。お客様に喜んでもらえる、楽しいコンサートにしたいものです。

## **(投稿) 「はじめての合発」 昴 T2 更家**

一昨年、昴に入団以来 2 回目のリックで、決めた合発、久しぶりの東京で、雑踏の人の多さに辟易しながら、風邪、体調不良、身内の不幸等を乗り越え、なんとか三十数名で、さくらホールの舞台に立てたことは、ここ数年来の念願が叶いました。

常連のように出ている人を横に見ていたので、簡単に考えていましたが、入団早々の合発で、その難易度の高さにびっくり。やっと出られたかと思うと、入賞を逃し、自分自身の出来の悪さに、納得?。うたごえ運動の経験の乏しい、声を出して歌うことの難しさを感じました。

また人生の曲がり角で、今度の十二回コンサートや、地域の第九演奏会に参加して、次の一步を踏み出し、新しい出発点と考えて、出直したい気持ちです。

※初めて全国の祭典に参加された向井さん・更家さん投稿ありがとうございました。(編集子)  
※今回の東京祭典に参加された「フェスタ」「合唱発表会」等、感想文の投稿を歓迎いたします。pc メール、fax、手書きいずれでも結構です。よろしくお願ひします。(編集子)